

令和6年11月15日  
上下水道事業運営審議会  
資料 5-1

# 令和5年度 荒尾市上・下水道事業会計 決算の状況

荒尾市企業局



# 企業会計の「おさらい」

## 3条収支（収益的収支）

収益	費用
給水収益 ・水道料金	維持管理費 企業債利息
営業外収益 ・受取利息など	減価償却費
	純利益

### <3条収支（収益的収支）>

施設設備の**維持管理**に係る収益と費用

【収益】水道料金とその他の収益

【費用】水をつくり、送り、施設設備を管理する経費

⇒減価償却費のように現金支出を伴わない支出も含まれる

### <4条収支（資本的収支）>

施設設備への**新規及び更新投資**に係る収益と費用

【収益】企業債収入、補助金など

【費用】施設設備を新設・改良するための費用

## 4条収支（資本的収支）

収益	費用
企業債収入 補助金など	建設改良費 企業債元金
内部留保資金	

現年度  
損益勘定留保資金

内部留保資金

現年度  
損益勘定留保資金

過年度  
損益勘定留保資金



### <内部留保資金>

家庭での貯金に該当するもの

⇒3条の純利益と減価償却費のように現金支出のない費用によって生じた資金

# 荒尾市水道業務の状況

令和6年3月31日現在

項目	単位	令和5年度	令和4年度	増減
行政区域内人口	人	49,394	50,052	△658
年度末給水人口	人	47,370	47,989	△619
普及率	%	95.9	95.9	0.0
年間総配水量	m <sup>3</sup> /年	5,368,980	5,422,581	△53,601
年間有収水量	m <sup>3</sup> /年	4,799,613	4,896,313	△96,700

年間総配水量：配水池や浄水場から送り出した1年間の水量

年間有収水量：水道料金収入につながった1年間の水量

- ※ 給水人口は、1年間で619名減少しました。  
今後も給水人口は減少傾向になると予測します。  
有収水量も給水人口と同様に減少しました。

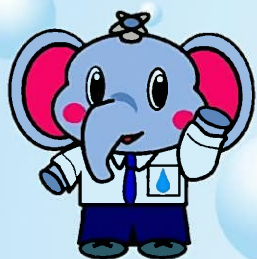


# 経営の状況 3条収支（収益的収入・支出）

(収益的収入)	(単位：千円)					
	令和5年度		令和4年度		対前年度比	
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	増減	伸率(%)
1. 営業収益	766,351	73.8	741,706	72.8	24,645	3.3
2. 営業外収益	271,837	26.2	277,699	27.2	△ 5,862	△ 2.1
3. 特別利益	8	0.0	27	0.0	△ 19	△ 70.4
計	1,038,196	100.0	1,019,432	100.0	18,764	1.8

(収益的支出)	(単位：千円)					
	令和5年度		令和4年度		対前年度比	
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	増減	伸率(%)
1. 営業費用	961,124	94.2	958,707	93.8	2,417	0.3
① 職員給与費	61,195	6.0	55,905	5.5	5,290	9.5
② 経費	445,129	43.6	463,992	45.4	△ 18,863	△ 4.1
委託料（包括：修繕費）	54,628	5.4	54,303	5.3	325	0.6
委託料（包括：動力費）	48,345	4.7	64,075	6.3	△ 15,730	△ 24.5
委託料（包括：その他）	178,846	17.5	179,375	17.6	△ 529	△ 0.3
包括委託以外の経費	163,310	16.0	166,239	16.2	△ 2,929	△ 1.8
③ 減価償却費	442,083	43.3	430,406	42.1	11,677	2.7
④ 資産減耗費	12,717	1.3	8,404	0.8	4,313	51.3
2. 営業外費用・特別損失	59,574	5.8	62,729	6.2	△ 3,155	△ 5.0
計	1,020,698	100.0	1,021,436	100.0	△ 738	△ 0.1

収益的収支は、1,038,196千円－1,020,698千円＝17,498千円の黒字となりました。



(損益収支)	(単位：千円)		
	令和5年度	令和4年度	増減
当年度純利益	17,498	△ 2,004	19,502
前年度繰越利益剰余金	92,879	114,883	△ 22,004
その他未処分利益剰余金変動額	214,785	57,028	157,757
当年度未処分利益剰余金	325,162	169,907	155,255
利益剰余金	718,071	757,601	△ 39,530

当年度純利益 1,749万8千円（令和4年度より1,950万2千円の増加）

利益剰余金（※1） 7億1,807万円（令和4年度より3,953万円の減少）

※1 利益剰余金とは、家庭での貯金に該当するものであり、これまでの利益の累積額です。利益剰余金が不足すると年度途中に発生する工事費の支払い等が出来なくなり、安定した事業の運営に支障をきたす恐れがあります。



# 経営の状況 4条収支（資本的収入・支出）

（資本的収入）	（単位：千円）					
	令和5年度		令和4年度		対前年度比	
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	増減	伸率(%)
1. 企業債	586,600	74.7	359,700	63.1	226,900	63.1
2. 工事負担金	8,809	1.1	30,058	5.3	△ 21,249	△ 70.7
3. 他会計負担金	9,306	1.2	9,632	1.7	△ 326	△ 3.4
4. 補助金	180,182	23.0	170,489	29.9	9,693	5.7
計	784,897	100.0	569,879	100.0	215,018	37.7

（資本的支出）	（単位：千円）					
	令和5年度		令和4年度		対前年度比	
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	増減	伸率(%)
1. 建設改良費	1,056,183	79.2	641,578	70.7	414,605	64.6
①配水設備拡張費	57,923	4.4	184,283	20.3	△ 126,360	△ 68.6
うち包括委託工事費	32,077	2.4	156,210	17.2	△ 124,133	△ 79.5
②配水設備改良費	988,703	74.1	447,130	49.3	541,573	121.1
うち包括委託工事費	850,457	63.7	353,653	39.0	496,804	140.5
③営業設備費	9,557	0.7	10,165	1.1	△ 608	△ 6.0
うち包括委託工事費	9,557	0.7	9,157	1.0	400	4.4
2. 企業債償還金	277,829	20.8	265,734	29.3	12,095	4.6
計	1,334,012	100.0	907,312	100.0	426,700	47.0

## 資本的収支

資本的収入（784,897千円）－資本的支出（1,334,012千円）  
＝549,115千円の資金不足となりました。

なお、収支不足分につきましては、当年度損益勘定留保資金（※2）等にて補填しました。

※2 当年度損益勘定留保資金とは、現金支出を伴わない減価償却費（固定資産を耐用年数に応じて費用分配した額）等の企業の内部に留保される資金の事。

（資本的収支）

（単位：千円）

		令和5年度	令和4年度	増減
資本的収支不足額		549,115	337,433	211,682
補填財源	過年度分	0	0	0
	当年度分	549,115	337,433	211,682



# 令和5年度決算(水道事業)

## 貸借対照表

<b>資産</b>	<b>負債</b>
100 %	65.8 %
12,014,435 千円	7,905,727 千円
	<b>資本</b>
	34.2%
	4,108,708 千円
うち現金預金 5.4% 654,143 千円	

## 損益計算書

<b>営業費用</b>	<b>営業収益</b>
92.6 %	73.8 %
961,124 千円	766,351 千円
うち減価償却費 442,083 千円	うち水道料金 764,422 千円
	<b>営業外収益</b>
	26.2%
営業外費用 5.7% 59,572 千円	271,837 千円
特別損失 2千円	
<b>純利益</b> 1.7% 17,498 千円	特別利益 8千円

## 《水道事業の総括》

令和5年度は収益的収支において約1,750万円の黒字決算となり、昨年度の約200万円の赤字決算から脱却しました。要因としましては、令和5年10月に実施した水道料金改定により、給水収益が約2,650万円増加し、総収入が約1,870万円増加したことによるものです。

しかしながら、人口減少や節水機器の普及等により、給水収益の基となる有収水量は前年比で2%減少しており、まだまだ安心できない状況にあります。

今後も水道ビジョンに掲げる「あらおの水 蛇口から出る安心を これからも」を念頭に、老朽化対策等の各種施策を着実に実施し、永続的に利用できる水道の維持と共に健全な運営に努めます。

## 荒尾市下水道業務の状況

令和6年3月31日現在

項目	単位	令和5年度	令和4年度	増減	伸率(%)
行政区域内人口	人	49,394	50,052	△ 658	△ 1.3
処理区域内人口	人	34,723	35,377	△ 654	△ 1.8
水洗化人口	人	31,606	32,136	△ 530	△ 1.6
普及率	%	70.3	70.7	△ 0.4	
水洗化率	%	91.0	90.8	0.2	
年間総処理水量	m <sup>3</sup>	4,442,449	4,338,116	104,333	2.4
年間有収水量	m <sup>3</sup>	3,706,083	3,801,825	△ 95,742	△ 2.5

※ 処理区域内人口は、昨年度より654人の減少となりました。また、下水道使用料に直結する有収水量についても2.5%の減少となりました。



# 経営の状況 3条収支（収益的収入・支出）

（収益的収入）

（単位：千円）

	令和5年度		令和4年度		対前年度比	
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	増減	伸率(%)
1. 営業収益	774,844	60.7	812,366	62.2	△ 37,522	△ 4.6
2. 営業外収益	502,132	39.3	495,264	37.8	6,868	1.4
3. 特別利益	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	1,276,976	100.0	1,307,630	100.0	△ 30,654	△ 2.3

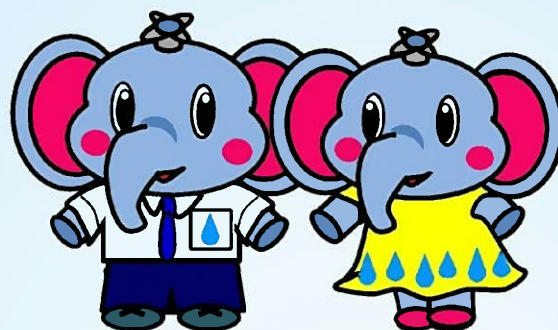
（収益的支出）

（単位：千円）

	令和5年度		令和4年度		対前年度比	
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	増減	伸率(%)
1. 営業費用	1,129,486	92.9	1,149,983	93.0	△ 20,497	△ 1.8
①職員給与費	67,132	5.5	65,343	5.3	1,789	2.7
②経費	423,766	34.9	446,040	36.1	△ 22,274	△ 5.0
③減価償却費	626,486	51.5	628,209	50.8	△ 1,723	△ 0.3
④資産減耗費	12,102	1.0	10,391	0.8	1,711	16.5
2. 営業外費用	86,354	7.1	87,310	7.0	△ 956	△ 1.1
①支払利息	78,922	6.5	81,664	6.6	△ 2,742	△ 3.4
②雑支出	7,432	0.6	5,646	0.4	1,786	31.6
3. 特別損失	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	1,215,840	100.0	1,237,293	100.0	△ 21,453	△ 1.7



収益的収支は、1,276,976千円－1,215,840千円＝61,136千円の純利益となりました。



(損益収支)	(単位：千円)		
	令和5年度	令和4年度	増減
当年度純利益	61,136	70,337	△ 9,201
前年度繰越利益剰余金	70,337	0	70,337
その他未処分利益剰余金変動額	74,022	70,687	3,335
当年度未処分利益剰余金	205,495	141,024	64,471
利益剰余金	233,447	242,999	△ 9,552

当期純利益 6,113万6千円 (令和4年度より920万1千円の減少)

利益剰余金 2億3,344万7千円 (令和4年度より955万2千円の減少)

# 経営の状況 4条収支（資本的収入・支出）

(資本的収入)	(単位：千円)					
	令和5年度		令和4年度		対前年度比	
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	増減	伸率(%)
1. 企業債	361,100	45.7	422,500	53.9	△ 61,400	△ 14.5
2. 補助金	384,349	48.6	347,783	44.4	36,566	10.5
3. 工事負担金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4. 固定資産売却代金	35,797	4.5	0	0.0	35,797	皆増
5. 受益者負担金	9,227	1.2	13,099	1.7	△ 3,872	△ 29.6
計	790,473	100.0	783,382	100.0	7,091	0.9

(資本的支出)	(単位：千円)					
	令和5年度		令和4年度		対前年度比	
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	増減	伸率(%)
1. 建設改良費	678,238	56.4	715,333	58.1	△ 37,095	△ 5.2
2. 借入償還金	505,558	42.0	515,029	41.9	△ 9,471	△ 1.8
3. 国庫補助金返還金	19,774	1.6	0	0.0	19,774	皆増
計	1,203,570	100.0	1,230,362	100.0	△ 26,792	△ 2.2



## 資本的収支

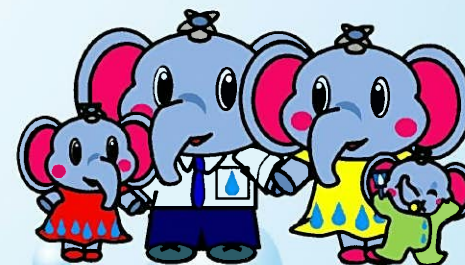
資本的収入（790,473千円）－資本的支出（1,203,570千円）  
＝413,097千円の資金不足となりました。

なお、収支不足分につきましては、当年度損益勘定留保資金や減債積立金等にて補填しました。

（資本的収支）

（単位：千円）

		令和5年度	令和4年度	増減
資本的収支不足額		413,097	446,980	△ 33,883
補填財源	過年度分	0	0	0
	当年度分	413,097	446,980	△ 33,883



# 令和5年度決算(下水道事業)

## 貸借対照表

<b>資産</b>	<b>負債</b>
100 %	85.1 %
14,399,808 千円	12,252,446 千円
	<b>資本</b>
	14.9%
	2,147,362 千円
うち現金 2.3% 334,599 千円	

## 損益計算書

<b>営業費用</b>	<b>営業収益</b>
88.5 %	60.7 %
1,129,486 千円	774,844 千円
うち減価償却費 626,486 千円	うち使用料 701,034 千円
	<b>営業外収益</b>
	39.3%
営業外費用 6.8% 86,354 千円	502,132 千円
<b>純利益</b> 4.7% 61,136 千円	うち長期前受金戻入 298,365 千円

## 《下水道事業の総括》

令和5年度は収益的収支において約6,113万円の純利益となりましたが、利益額は近年減少傾向にあります。今後については水道事業と同じく、人口減少や節水機器の普及に伴う有収水量の減少や終末処理施設などの経年劣化に伴う更新費用の増加、また維持管理費など固定費の増加といった課題もあり、財政運営は厳しい状況が予測されます。

今後も効率的な事業運営を図るため、計画的な施設更新や戦略的な維持管理を行い、中長期的展望に立って経営基盤の強化に努めます。